

5. 新遮光剤塗布によるガラス温室ブドウの高温回避効果（情報）

[要約]

7月上旬からガラス室のガラス表面に新遮光剤（レディソル6倍液）を0.05 L/m²塗布すると、マスカット・オブ・アレキサンドリアの果実品質を低下させることなく、日中の棚面温度を2～3℃下げることができる。

研究室名

果樹研究室

連絡先

0869-55-0276

[背景・ねらい]

ガラス室栽培のブドウ‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’（以下アレキ）では、夏季に室内棚面の温度が高くなりすぎて、葉焼けや日射病などの障害が生じることが多い。その対策の一つとして石灰乳塗布が行われているが、雨による流失が速いことや高濃度では流動性が劣る欠点があり、また、明確な使用基準もない。そこで、処理が容易で固着性が高く、効果が安定している新遮光剤（商品名レディソル）を用いて室温低下効果と果実品質に対する影響を検討する。

[成果の概要・特徴]

1. 7月上旬に、レディソル2 kgを水道水 10 リットルに希釈し、ガラス表面に 0.05 L/m²塗布した（50 坪のガラス室1棟当たり 10 リットル）。塗布は、添え竹で延長した噴口と動力噴霧機を用い、噴霧によって行った。
2. ほぼ1日晴天が続いた8月9日の9時から14時の遮光剤による平均遮光率は57%であった。
3. 7月21日から8月10日までの日中のブドウ棚直上部の平均温度は、遮光剤塗布によって2～3℃低下した。
4. レディソル塗布室と対照室の果実糖度を比較したが、差は認められなかった。
5. レディソルは、上記の使用量、使用濃度では10月になるとガラス面にほとんど残らず、除去作業は不要であった。

以上のことから、上記使用条件であればブドウガラス室の遮光にレディソルも使用できると考えられる。

[成果の活用面・留意点]

1. 上記の条件を超える高濃度、多量で使用すると、遮光率が高くなりすぎるため、当面、上記以下の濃度・量で使用する。

[具体的データ]

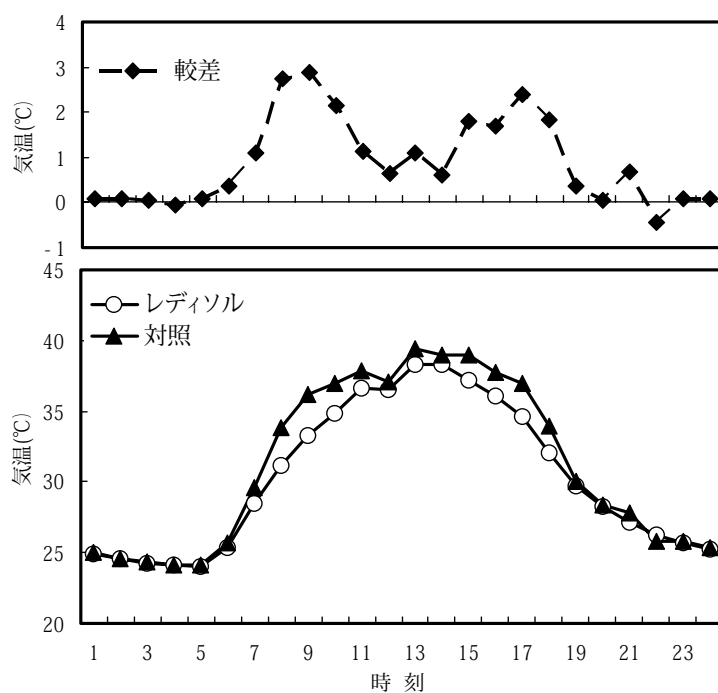


図1 遮光剤の塗布がガラス室棚上の気温に及ぼす影響
(7/21から8/10までの時刻別室温の平均値)

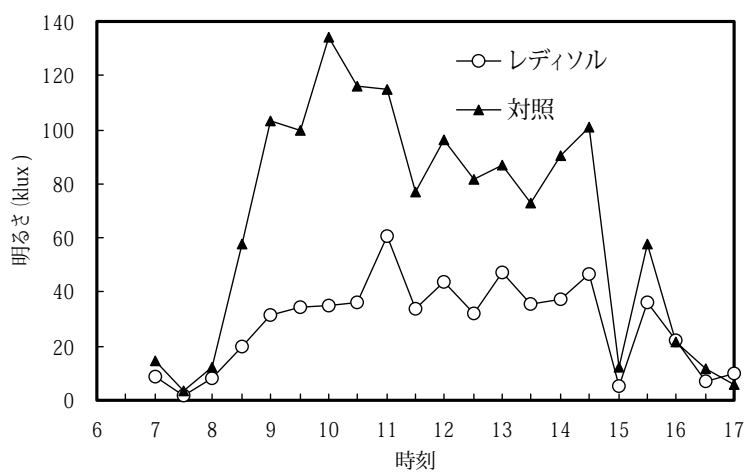


図2 遮光剤のガラス面塗布とガラス室棚上面の明るさ
(8/9調査)

表1 ガラス面の遮光剤塗布とブドウ（アレキ）の果実品質

処理区	果粒重(g)	果房重 (g)	糖度
遮光剤塗布	10.6	490	18.2
対 照	11.7	480	18.0

[その他]

試験研究課題名：現地緊急対策試験

予算区分：単県

研究期間：平成14年度

関連情報等：なし